

2021春のコレクション展[美術]



(ひとひと) 会の作家たち

2021年3月13日(土)~5月23日(日)
豊橋市美術博物館 2階第4展示室

このたびのコレクション展では、中村正義・星野眞吾らが1974年に創立した美術グループ从会の作家たちをご紹介します。会の名称は「人」という文字を横に並べて一文字とした造語を用い、上下関係や世代の区別無く、それぞれの表現活動を尊重しようとする方向性を示しています。山下菊二・大島哲以・田島征三・佐熊桂一郎・斎藤真一といった異色の画家たちが集ったほか、72年に死去した三上誠も加わる予定でした。74年に開催された第1回展「黒い太陽・七人の画家」の会場(日本橋・三越)には遺作が展示され、翌年の京都展より丸木位里・俊夫妻らが加わり、メンバーも入れ替わりながら現在に至るまで活動を続けています。

当館では創立会員の作品をコレクションしていますが、このたび丸木位里・俊の作品収蔵を機に、あらためて从会の作家たちをご紹介します。当時の美術の潮流や画壇とは一線を画したその独特な活動を振り返ります。社会問題の啓発をはじめ、作家の内的なビジョンの表出や水墨表現の探究など、各人の問題意識や目指したものは異なりますが、グループの活動を通して、人と人がつながり、作品世界が共鳴する様をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	从展関連出品	受入年度等
1 大島哲以	贖罪	1974(昭和49)年	第1回从展*	平成2年度購入
2 山下菊二	上陸地点	1974(昭和49)年	第1回从展*	平成2年度購入
3 佐熊桂一郎	花の雲	1972(昭和47)年	第1回从展*	平成2年度購入
4 斎藤真一	梅雨の頃	1971(昭和46)年		平成2年度購入
5 田島征三	ぼくたちの踊る踊り	1977(昭和51)年	第4回从展	平成2年度購入
6 中村正義	舞妓	1974(昭和49)年	第1回从展*	昭和57年度中村あや氏寄贈
7 中村正義	おそれA	1974(昭和49)年	第1回从展*/京都展*	平成4年度購入
8 中村正義	人人之図	1974(昭和49)年		小松コレクション
9 星野眞吾	カケラが降る	1973(昭和48)年	第1回从展*	平成27年度高畑郁子氏寄贈
10 星野眞吾	赤い生贄	1974(昭和49)年	第1回从展*	平成7年度購入
11 星野眞吾	花捧ぐ	1972(昭和47)年	第1回从展*	平成27年度高畑郁子氏寄贈
12 三上 誠	灸点輪廻・黄土	1966(昭和41)年	京都展*	平成9年度購入
13 三上 誠	機構の生理 的55	1970(昭和45)年	第7回从展	平成14年度購入
14 丸木位里	瀧	1943(昭和18)年頃		平成31年度購入
15 丸木位里	房総の海	1970(昭和45)年	第1回東京展*	平成31年度購入
16 丸木 俊	火炎仏(不動明王)	1970(昭和45)年	第1回東京展*	平成31年度購入
17 水谷勇夫	蠅と食卓	1984(昭和59)年	第11回从展	平成12年度作者寄贈

*第1回从展=「黒い太陽・七人の画家 从展」(1974年6月11~16日/日本橋・三越)

*京都展=「黒い太陽・十一人の絵師たち 从展」(1975年1月23~28日/京都・高島屋)

*東京展=从会の会場問題に端を発する展覧会。中村正義や从会会員を中心に丸木夫妻も参加し、「都美術館運営について」をはじめとする請願書を提出。会合とシンポジウムを重ねて「東京展市民会議」を発足し、東京都民による美術の祭典「東京展」構想を打ち出した。1975年11月1~20日に東京都美術館で公募枠(無審査)と招待枠を設けた第1回展を開催。シンポジウムやイベントなどを連日開催し、成功裡に閉幕したが、運営を巡って内部分裂する。第3回展では推薦制のグループ展となり、中村正義の追悼コーナーが設けられた。

※「从」の表記は本来半角の「人」を横に並べた造語ですが、本目録とキャプションでは造語の使用ができないため、便宜上「从」を用いました。なお、「从」の文字は人に従うという意味になり、会の方針とは真逆になります。从展でも初期の作成物にはしばしば「从」が使用されました。